

地質エンジニア連盟を設立

来年1月から会員募集



夢のある地質調査業を実現

地質調査業の政治団体「地質エンジニア連盟」の設立総会が17日に開かれた。写真。地質調査業の社会的地位確立に向けた政治活動の支援、国土強靱化に寄与する活動を通じて社会貢献するための政治活動を行うとともに、職域代表の国会議員を支援する。初代会長には成田賢氏（全国地質調査業協会連合会前会長）が就任した。2025年1月から会員募集を開始し、2月に開催予定の通常総会で役員に開催予定の通常総会で役員

設立に向けては、今年8月、全国各地地質調査業協会理事長などが政治団体設立「有志の会」を立ち上げていた。翌9月、東京都選挙管理委員会に地質エンジニア連盟の政治団体設立届を提出した。職

と年間事業を決める。持続可能な地質調査業を目指すためには、地質調査事業量の増大、諸経費率や市場単価・技術者単価のアップ、地質調査業のイメージアップなどを実現し、夢のある産業に転換する必要があるとの認識の下、同連盟は、法制度による裏付けも含め、行政や各方面に対し強力に働き掛けをしていく必要がある、政治の力を借りることも時には必要との考え。

域代表として佐藤信秋参院議員、足立敏之参院議員、25年7月の参院選出馬を表明している見坂茂範氏を支援する方針だ。

主な事業は、▽地質調査業の社会的地位の確立を図るための事業の支援▽関係方面への広報活動▽その他、同連盟の目的を達成するために必要な事業——の三つ。

問い合わせは、同連盟事務局・電話080-4676-6211。

